

【子ども・子育て支援事業計画の実績一覧表】

資料1

具体的施策 の事業名	概要等	R2年度事業実績	R2年度決算額 (単位千円)	主管課
特定事業主行動計画	職員が仕事と子育ての両立を図ることができるよう、職員のニーズに即して策定する行動計画を着実に推進し実施する。	育児休業 : 7人 子の看護(特休) : 2人 特休取得人数平均 : 2.5日 有休休暇1日あたり : 11.89日 有給休暇取得率 : 30.32%	0	総務課 人事秘書室
交通環境整備	通園・通学路等の事故防止のため、必要と認められる箇所へカーブミラー及び看板等の整備を実施する。	自治会要望を受け現地調査を実施し、通行上危険性の高い箇所(10箇所)に新規設置した。	507	総務課
保育園児交通安全教室	各保育所、幼稚園において、交通指導員による交通安全教室を実施する。	市内保育園において、園児を対象に交通安全教室を15回実施した。	216	
小学生交通安全教室	各小学校において、交通指導員による交通安全教室を実施する。	市内小学校において、児童を対象に交通安全教室を0回実施した。	0	
防犯灯設置事業	市民等に設置の必要性が高いと認められる箇所に防犯灯を設置する。	自治会要望を受け現地調査を実施し、必要性の高い箇所に17基新規設置した。	433	
男女共同参画プラン	市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の形成に向けて総合的に取り組む。	・第3次山県市男女共同参画プランの進捗管理 ・男女共同参画PJ会議1回開催、男女共同参画推進審議会及び女性活躍推進協議会2回開催 ・山県市さくらカンパニー認定制度普及促進事業の実施 ・第4次山県市男女共同参画プラン策定に向けたアンケート調査の実施	5,140	企画財政課
乳幼児医療費助成	保護者の医療費負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりのために、小学校就学前までの医療費(外来・入院)を無料化する。	受信者数:978人 受診件数:13,665件 ・入院:121件 ・外来:13,544件 (延べ人数・件数)	28,206	市民環境課
子ども医療費助成	保護者の医療費負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりのために、小学校1年生から中学校3年生までの医療費(外来・入院)を無料化する。	受信者数:1,712人 受診件数:18,835件 ・入院:47件 ・外来:18,788件 (延べ人数・件数)	45,253	
高校生医療費助成	高校生等の保護者に医療費(外来・入院)の自己負担相当分を「山県まちづくり振興券」で助成する。	受信者数:397人	6,410	
母子家庭等医療費助成	保護者の医療費負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりのために、18歳に達した日以降の最初の3月31日までにいる児童を監護し、また養育している母と当該児童及び父母のいない当該児童の医療費(外来・入院)を助成する。 (※所得制限あり)	受信者数:300人 受診件数:3,802件 ・入院:11件 ・外来:3,791件 (延べ人数・件数)	11,054	
父子家庭医療費助成	保護者の医療費負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりのために、18歳に達した日以降の最初の3月31日までにいる児童を監護し、また養育している父と当該児童の医療費(外来・入院)を助成する。 (※所得制限あり)	受信者数:14人 受診件数:121件 ・入院:0件 ・外来:121件 (延べ人数・件数)	250	
特別児童扶養手当	精神又は身体に障がいのある満20歳未満の児童の福祉増進を図ることを目的に支給する。 (※所得制限あり)	実受給者数 39人	82(事務費のみ)	

障害児福祉手当	常時介護を要する在宅の障がい児に対して支給する。(※所得制限あり)	実受給者数 14人	2,348	福祉課
障がい児・者居宅介護(ホームヘルプ)	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う。	延件数 330人	20,601	
児童発達支援	通所により、障がい児の日常生活動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う。	延件数 490人	10,702	
放課後等デイサービス	授業終了後又は休業日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行う。	延件数 831人	66,797	
障がい児・者短期入所(ショートステイ)	保護者の病気その他の理由により障害者支援施設等に短期間入所し、必要な支援を行う。	延件数 135人	7,141	
障がい児・者地域生活支援事業	日中一時支援・移動支援等を行う。	日中一時支援 利用件数 380件 移動支援 利用件数 12件	18,286 150	
家庭児童相談	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、子どもと家庭に関する様々な問題、子どものしつけ、養育、発達に関すること、学校生活、非行、家庭環境等について相談員が相談に応じる。(家庭相談員)	家庭児童相談員2名 設置	2,383	子育て支援課
広報活動	子育て支援にかかわる事業の周知を行い、啓発に努める。	毎月、広報に子育て予定表を掲載	—	
障がい児保育事業	障がい児の入園受入をし、障がいの程度により加配保育士を配置する。	保育士 人を配置	—	
食育推進サポーター活動支援	様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する活動を行っている食育推進サポーターを支援する。	食育教室 2保育園 56人 5保育園 開催中止 新型コロナウイルス感染症のため)	4	
出産祝金	次代を担う子の出産を奨励し、新生児の出産に対し第1子、第2子は1人10万円分、第3子以降は1人20万円分の山県まちづくり振興券を支給する。	交付決定 第1子及び第2子 82人 第3子以降 24人	13,000	
児童手当	中学校終了前の児童を養育している方に手当てを支給することにより、子育て家庭の生活の安定と促進を図る。(※所得制限あり)	児童件数(延べ) 3歳未満 3,924人 3歳以上小学校修了前 第1子、第2子 15,055人 第3子以降 3,190人 小学校修了後中学校修了前 6,652人 特例給付 1,462人	331,090	
ひとり親家庭相談	関係機関と連携しながら、子育てや生活・就労等、様々な分野の総合窓口として相談に応じる。(母子自立支援員)	母子福祉資金貸付金 相談2件、資格取得・ 職業訓練相談2件	—	
児童扶養手当	父母の離婚等により、父親又は母親と生計が別である児童(父親が一定の障がいの状態にある家庭を含む)が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図る。(※所得制限あり)	受給者延べ 1,381人	58,135	
母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業	母子家庭の母及び父子家庭の父の主體的な取組を支援し、就労による自立の促進を図るため、母子家庭自立支援教育訓練給付金給付金を支給する。	申請なし	—	
高等職業訓練促進費等事業	母子家庭の母及び父子家庭の父が、就職に有利な国家試験取得と経済自立のために1年以上養成機関で修学される場合、一定の期間について訓練促進費を支給する。	申請なし	—	

母子父子寡婦福祉資金貸付	母子家庭及び父子家庭や寡婦の自立の援助と児童の福祉を推進するために、無利子又は低利子で資金の貸付の受付事務を行う。	申請なし	—	
施設入所児童ホームステイ事業（ボランティア里親事業）	養護施設入所児童が夏休み中の3日間をボランティアの家庭で過ごし家庭の温かい雰囲気の中で生活する。	コロナ禍により中止	—	
二次及び三次予防接種	定期的予防接種が特別な疾患等で接種できない場合、医療体制が充実した医療機関で接種する。	二次6人 三次4人	100	
口腔保健推進協議会	口腔保健思想の普及、歯科疾患の予防のため、関係機関と連携をとりながら、総合的かつ効果的な歯科保健事業を推進する。	8020達成者表彰77人 新成人アンケート227名 (回収率73.2%) 市健康増進計画【歯科保健】の策定準備	200	子育て支援課
異世代交流会	老人クラブの各種の行事や「いこいの広場」の事業を通じて異世代間の交流会を行う。	コロナ禍により中止		
結婚支援事業	市マリッジサポートセンターにおいて、結婚相談を行う。	延べ相談件数 148件 お見合い件数 57件 成婚組数 11組	2,073	
子育てネットワーク	子育てに関する多様なニーズに見合う支援活動を展開するために、支援方法の協議及び関係機関との情報交換等を実施する。	子育て支援ネットワーク協議会・実務者会 2回開催		高富児童館指定管理事業により実施
乳幼児教室	子育て中の母親の育児不安やストレスを軽減するため、各地域の公民館で教室を開催する。 親子あそびや子育てについて学習する。 ・ベビママ（3～8か月くらいの子どもと保護者） ・ミルキー（9か月～1歳くらいの子どもと保護者） ・すくすく（高富地域の1歳児と保護者） ・のびっこ（高富地域の2,3歳児と保護者） ・小鳩会（伊自良地域の1～3歳児と保護者） ・つくしんぼ（美山地域の1～3歳児と保護者）	ベビママ 11回 ミルキー 4回 すくすく 4回 のびっこ 4回 小鳩会 4回 つくしんぼ 4回 合同会 4回 参加者数 388人		高富児童館指定管理事業により実施 高富児童館
託児ボランティア育成（ミルキーママボランティア）	子育て支援事業や乳幼児健診等における託児を充実するため、託児ボランティアの育成をするとともに資質向上も図る。	研修会兼交流会2回開催 13名参加		高富児童館指定管理事業により実施
託児派遣（ミルキーママボランティア）	母親が子育てにかかわる研修や活動を行う時に子どもの託児を行うボランティアの調整を行う。	延べ26人派遣		高富児童館指定管理事業により実施
子育て支援センター	育児の悩みや不安等に関する相談・支援及び研修を実施し、安心して子どもを産み健やかに育てることができる環境づくりの事業を推進する。	利用者支援事業 相談件数 155件 地域子育て支援拠点事業利用者数 6,118人		高富児童館指定管理事業により実施
児童館事業	2つの児童厚生施設で未就学児を対象とした幼児行事、1・2歳児を対象に幼児サークルを開催。小学生対象の学童行事を開催。	(高富児童館) 開館日数240日、来館者数13,824人、学童行事4回40人 (子どもげんきはうす) ・開館日数236日 ・来館者数3,937人 ・学童行事開催日数8日 参加者37人 ・乳幼児行事開催日数49日、参加者331組	高富児童館指定管理事業により実施 23,886	高富児童館子どもげんきはうす

健康山県 2 1	市民の健康増進を目的とし、市民と協働で健康づくりを推進する。(健康管理、食生活・運動、歯と口腔、心の健康(自殺対策)を含む。)	健康山県21推進委員会6回 元気はつらつ応援団5回 こころの体温計6991人 健康ポイント事業24人	2,706	健康介護課
学校給食地産地消推進事業	地産地消に基づいた少年期からの食農教育を推進し、児童生徒が「食」を選択する力を習得する。	安心、安全な地元農産物・県産農産物及びびクリーン米を取り入れ地産地消を推進した。	659	農林畜産課
雇用の確保	企業誘致にあわせ、市内での雇用機会の拡大を図る。また関係機関との連携により雇用に関する相談・情報の充実を図る。	企業立地奨励金等の交付(10件)により雇用機会の拡大に努め、国からの制度情報は広報紙や市HPにより周知した。また、岐阜労働局から雇用情報を縦覧し、相談情報の周知に努めた	519	まちづくり企業支援課
労働環境	各種法制度の普及・定着に取り組むほか、子育てに対する理解や協力の促進を図るとともに、子育てしやすい就業形態の導入に向け、企業に対する啓発・働きかけを行う。	岐阜労働局などから発信された情報を広報紙に掲載し周知した。	—	
市営住宅への入居(母子世帯)	20歳未満の子を扶養している母子世帯について入居を優先的に取り扱う。	対象者の応募なし。	0	建設課
市営住宅への入居(多子世帯)	18歳未満の児童が3人以上いる世帯について入居を優先的に取り扱う。	対象者の応募なし。	0	
幼年消防クラブ事業	火に対する正しいしつけを体得させ、火遊びの防止を進める。また集団活動を通じて健全な育成を図る。	毎月避難訓練を実施 参加者約170名	—	
少年消防クラブ事業	火災を予防する方法や火についての問題点を身近な生活の中に見出し、社会科、理科等の学習につなげる。	・火災予防に関するポスター作品を募集 市内小中学生に作品応募をかけたが、応募がなかった。 ・学校主催の消防訓練を年3～4回実施 参加者のべ1300人	0	総務課
教育相談員による相談	問題を抱え相談が必要な児童生徒の相談活動を実施する。また、相談室登校をしている生徒の教室復帰に向けて援助をする。	教育センターに1名、3中学校に各1名配置	10,422	
生活相談員による児童生徒への指導援助	不登校の児童生徒又は生徒指導上、集団での生活に適応できない児童生徒を適切に指導援助する。また、困り感をもつ児童生徒の電話相談を実施する。	教育センターに4名配置	3,067	
学校施設の保全及び長寿命化	学校施設については、対症的な事後保全から、計画的な予防保全への変換を図り、計画的に施設の改修・修繕を行い、施設の長寿命化を図る。	小中学校各種工事、長寿命化工事、トイレ改修工事、自動水栓取替工事、市内中学校体育館空調整備工事、校内情報通信ネットワーク整備工事を実施。	326,218	
学校ICT整備	「公正に個別最適化された学び」を実現していくための小中学校におけるICT環境整備を推進する。 ・大型掲示装置 ・指導用デジタル教科書 ・学習者用コンピューター	児童生徒一人1台タブレット端末を配付。更に電子黒板、デジタル教科書、無線LAN機器を整備。	144,685	
科学作品相談コーナー	夏休みの科学作品づくりに対して、その進め方や作品内容にかかわる質問に答えたり、アドバイスをしたりする。	活動なし	—	

不審者出現時における学校支援ボランティアの活用	年度当初、保護者等から「学校支援ボランティア」の登録を行い、登下校時において不審者が出現した場合、この「学校支援ボランティア」による巡回を行うことで、児童生徒の安全を確保すると同時に、事故の未然防止に努める。	活動なし	0	学校教育課
人権教育における教職員の指導力向上に関する事業	市内小中学校、山県高校の教職員を対象に研修会等を実施することで、人権教育における指導力向上に努める。	人権教育推進委員会2回 人権に関わる映像の視聴と感想のまとめ1回	147	
山県市教育委員会指定研修校・研究指定校事業	市内小中学校の中から毎年2～3校を指定し、山県市の学校教育の方針と重点の具現に資する。	高富中学校が公表会を実施	300	
専門的な知識・技能を有する外部講師の活用	教科・総合的な学習の時間等において、学習内容にかかわる専門的な知識・技能を有する講師を学校外から招聘し、より教育内容（活動）の充実を図る。	全ての小中学校で実施	342	
学力向上・基礎学力確保等に係る非常勤講師の配置	学習支援員による、特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する指導・援助を行う。また、特別教育サポーターの配置により、複式学級を解消した授業の実施や、小学校の教科担任制の実施を図る。	学習支援員を小中学校に14名配置 特別教育サポーターを中学校に6名配置	41,780	
要保護・準要保護児童生徒就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の支給	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒又は、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行うことにより義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。	就学援助費 174人 ・要保護 0人 ・準要保護 174人 （小学校 121人） （中学校 53人） 就学奨励費 28人 （小学校 23人） （中学校 5人）	就学援助費 13,120 （小学校 7,642） （中学校 5,478） 就学奨励費 1,080 （小学校 768） （中学校 312）	
家庭教育支援 （幼稚園・保育所・小学校・中学校）	各幼稚園・保育所・小学校・中学校において、保護者が企画運営し、家庭の教育力向上のための講座・親子体験活動を実施する。	家庭教育学級数：19学級 保育園（7）、小学校（9）、中学校（3） 実施年平均 保育園 1回 小中学校 3回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や在宅型へ変更して取組を行った。	165	
総合型地域スポーツクラブ活動支援	幼年期から高齢者までスポーツの楽しさを伝え、スポーツによる新しい生活環境づくりを提案する。	いつでもどこでも誰とでも気軽にスポーツ活動に参加でき生涯スポーツの振興、心と体の健康づくりに努めた。 たかとみスポーツクラブ（22種目教室：379回実施、受講者2,600名）ほかスポーツ広場等実施	4,500	
スポーツ少年団活動支援	青少年のスポーツ活動を生涯スポーツの起点としてとらえ、スポーツ好きで自らスポーツに親しむ青少年を育成する。	スポーツとの楽しい出会いを演出し、体を動かす爽快感と体で表現する楽しさを創出することに努めた。 合同入団式・運動適性テスト：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	生涯学習課

子ども110番の家	警察署及び小中学校、青少年育成会、子ども会と連携をとり、子ども110番の家の整備と連絡調整を図る。	警察署、山県市青少年育成市民会議、校区青少年育成市民会議が連携をとり、子ども110番の家の整備と連絡調整を図った。 高富地区見守り：9月～10月	—	
社会人権教育	子どもを含めた人権問題の解消のために、市民の人権感覚を豊かにするための研修や大会を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人権教育講演会・隣保館習字教室は中止したが、代わりに人権講話を記載した人権資料を全戸配布した。	337	
読み聞かせ	市図書館を拠点に、読み聞かせボランティアによる読み聞かせや、子育て支援教室を実施する。	読み聞かせボランティアによる読み聞かせを41回、乳幼児教室による読み聞かせを10回実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援教室は実施しなかった。	55	山県市図書館 (生涯学習課)
やまがた子ども文化クラブ	児童生徒の放課後及び休日の過ごし方を援助するため、各種体験活動の実施、市内外の子ども向け活動の情報提供をする。	講座数：8教室39講座 申込者数：137人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により講座を中止した。 自宅で作れる、料理や作品などを紹介した通信特別号の発行やホームページ開設など情報発信に努めた。	705	やまがた子ども文化クラブ (生涯学習課)
青少年健全育成	青少年育成市民会議を核として、地域に根ざした青少年健全育成にかかわる活動を展開する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会は書面表決、主張大会は書類審査としたが、各校区単位では地域に根ざした活動を展開した。	1,771	山県市青少年育成市民会議 (生涯学習課)

参考（子育て支援課詳細分）

乳幼児健診	乳幼児の健康状態や成長発達を確認するとともに、親とおしの交流や育児不安等に対して支援する。	全対象者数 533名 平均受診率 97.9%		
3・4か月児健診		受診者数(受診率) 3-4か月児健診 医療機関委託 114人(98.3%)		
10・11か月児健診		10-11か月児健診 医療機関委託 108人(98.2%)		2,988
1歳6か月児健診		1歳6か月児健診 11回 149人(97.4%)		
3歳児健診		3歳児健診 14回 151人(98.1%)		
妊婦一般健康診査	妊婦1人あたり14枚の受診券を交付し、経済的負担の軽減をはかるとともに、妊娠中の健康管理を支援する。	延べ1328名(委託) 延べ 20名(償還払い)		12,954

乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	全ての出生児のいる家庭を訪問し、子育てに関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の状況・養育状況を把握し、必要に応じて助言する。	対象者 113名 訪問数 113名 (100%)	78	子育て支援課
乳幼児訪問・未熟児訪問	未熟児は全て訪問、その他訪問が必要とされる乳幼児を家庭や保育園などを訪問し、健康状態等を確認するとともに、支援方法などについて情報提供等を行う。 (健診未受診者、要経過観察者等)	家庭・施設訪問302件 (乳児家庭全戸訪問を除く)	0	
各種相談 乳幼児相談(電話・来所等含む) 発達支援相談(すこやか相談)	乳幼児の発育・発達、育児の相談をうけ、育児不安等の解消をはかる。 ことばや発達等について臨床心理士が個別相談を行う。	乳幼児相談 11回/年 延べ参加者数 40名 電話・来所等 189件 すこやか相談 24回/年 延べ参加者数 27名 こころの相談室 2回 延べ参加者数 4人	231	
発達支援教室(あそびの教室)	ことばや発達について心配のある未就児に対して、あそびを通じてふれあうことの楽しさやコミュニケーションの広がり育てる。	実施回数 18回/年 延べ参加者数79名	100	
6・7か月健康教室	生後6～7か月児を対象に、身体計測、離乳食の進め方(試食を含む。)等の教室開催する。	実施回数 5回/年 ※ オンライン開催 対象者 92名 参加者 15名 (16.3%)	0	
フッ化物洗口・ブラッシング指導	う歯予防のため、市内保育園・幼稚園・小学校・中学校で実施する。子どもや保護者等に口腔内を健康に保つことの大切さを伝えていく。	【フッ化物洗口】 園児 429人(99.3%) 小学校 1178人 (99.1%) 中学校 645人(99.7%) 【ブラッシング指導】 小学校 7回 111人 中学校 1回 8人	2369(歯科決算額)	
性教育、喫煙・薬物乱用防止教育の実施	生きる教育、命を大切に教育を思春期の子どもたちや保護者等に実施する。	0回	0	
母子健康手帳交付	健康な赤ちゃんを産み育てるために、母子健康手帳、妊婦健診受診券の発行。	交付数 113件	32	
妊産婦相談・訪問	妊婦の健康状態や希望により相談・訪問を行い、安心安全な妊娠出産を支援する。	妊産婦相談 延べ132件 妊産婦訪問 延べ31件	0	
広報で健康情報の掲載	最近の子育て事情等情報提供をする。	広報毎月(食育・歯科等・健診日程)子育て支援HP「げんき」に情報提供	0	
予防接種	予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施	【定期接種】 BCG 106人 四種混合 460人 二種混合 194人 麻しん風しん 283人 日本脳炎 681人 子宮頸がん 26人 ヒブ 474人 小児肺炎球菌 448人 水痘 226人 B型肝炎 346人 風しん抗体検査 368人 風しん第5期 88人 【任意接種】 インフルエンザ2,588人 風しん 7人	44,346	
はみがきけんしん	歯のみがき具合の検査(歯の汚れの検査) 歯科健診、フッ化物塗布、歯科保健指導を実施	10回/年延べ参加者数 175名	2369(歯科決算額)	
児童虐待予防対策	家庭訪問や乳幼児健診未受診者把握など、様々な場面を通じて、親子関係や児の発達状況を確認する。	乳幼児健診未受診者は、すべて面接・訪問を実施	0	